

MAS が主導するデジタル資産イニシアチブに 2年連続の参画へ～UBS および DBS とともに試験 的レポ取引を実行～



2023年6月27日

各位

SBI デジタルアセットホールディングス株式会社

SBI グループでデジタルアセット関連の取り組みを行う SBI デジタルアセットホールディングス株式会社（本社：東京都港区、CEO：フェルナンド・ルイス・バスケス・カオ、以下「SBI DAH」）は、トークン化された債券や預金の企業間取引を通じて、資本市場の効率と流動性の向上を目的とする、シンガポール金融管理局（MAS）が主導するデジタル資産に関するイニシアチブ「プロジェクト・ガーディアン」（Project Guardian）に、2年連続で参画したことをお知らせいたします。

本プロジェクトでは、UBS 銀行、DBS 銀行や SBI DAH が初めからデジタルに発行された債券を用いた試験的なレポ（買い戻し契約）取引を実行しました。MAS が 6 月 26 日に行った発表によれば、「本件は、デジタルアセットネットワーク上の資本市場で金融商品のクロスボーダー流通と決済において、より高い柔軟性、運用効率、迅速な決済、効率性の向上を可能にする。」とあります。さらに、今年プロジェクトには、海外規制当局として初めて日本の金融庁（JFSA）がオブザーバーとして参加しています。プロジェクトの詳細および SBI DAH の果たした役割については、以下の MAS ウェブサイトにてご確認ください。

[MAS Proposes Framework for Digital Asset Networks](#) - 2023年6月26日

SBI DAH は昨年もプロジェクト・ガーディアンに参加し、J.P.モルガン社とのトークン化為替取引や DBS 銀行とのトークン化政府債券の売買を含むパイロットプロジェクトを実施しました。昨年の取り組みの詳細については以下をご覧ください。

[First Industry Pilot for Digital Asset and Decentralised Finance Goes Live](#) - 2022年11月2日

SBI DAH の本プロジェクトへの参加は、機関投資家向けデジタルアセット分野における、SBI グループの革新へのコミットメントとパイオニアとしての地位を強化するものです。

また本件は SBI DAH による機関投資家向けのデジタル金融ハブであるシンガポールへの投資の動きと整合しています。SBI DAH は過去 2 年間でシンガポールにおいて 2 つのベンチャー企業を立ち上げました。SBI Digital Markets はデジタル証券会社であり、MAS より CMS ライセンスを取得しています。SIX グループとの 50/50 の合弁企業である AsiaNext は、機関投資家向けのデジタルアセット取引所の開設を目指しています。AsiaNext は、MAS より CMS ライセンスの原則承認を受けており、暗号資産とデジタル証券の両方をカバーするデジタルアセット取引所として 2 つの追加ライセンス取得を進めています。

SBI DAH の CEO であるフェルナンド・バスケス・カオは、「SBI DAH の主な使命は、デジタルテクノロジーの展開を通じて資本市場と銀行業界のバリューチェーンを再構築し、変革することです。プロジェクト・ガーディアンを通じて、同様の志を持つパートナーや規制当局と深いレベルで関わり、普及を妨げる課題について学び、取り組むことができると考えています。我々はまた、この試験的な取り組みにおいて、DBS、SBI DAH そして UBS がそれぞれ従う、シンガポール、日本、スイスという 3 つの国の規制体制が整合したことを喜ばしく思っています。私たちは、本件が国境を越えた協力関係の構築により多くの道を開くことを願っています。」とコメントしました。

以上

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】
SBI デジタルアセットホールディングス株式会社 contact@sbidah.com